

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014」開催

基本上映プログラム全無料 (※一部イベントを除く)

初となるフェスティバルアンバサダーにLiLiCo就任決定

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (略称:SSFF & ASIA)は、5月30日(金)～6月15日(日)まで、東京(2会場)・横浜(1会場)を中心に開催致します。本年度は、世界110以上の国と地域から集まった約4,000本の作品の中から、選りすぐりの約200作品を一挙上映します。

昨年、初年度開催日にちなみ制定した「ショートフィルムの日(日本記念日協会認定)」である6月4日に、すべてのプログラムの無料上映を実施致しました。当日、原宿会場では前日比で約4倍となる動員を獲得し、入場待ち列が出来るほどの大盛況となりました。今年は、2014年4月から消費税の増税を迎える中、“エンターテインメントをもっと身近に楽しむ”をキーワードに一部のプレミアムイベントを除く会期中のプログラムを無料上映致します。

今年のテーマは、新たな映像の未来を担う若手クリエイターへのエールをこめ「STYLE OF CINEMA」と決めました。また、フェスティバルアンバサダーに映画コメンテーターのLiLiCoさんが就任。オープニングイベントほか、開催期間中も各イベントに会場し、映画祭を盛り上げて頂くほか、オフィシャルサイトでも来場者様へ向けたメッセージを公開致します。

※昨年度は、東京(3会場)・横浜(1会場)で合計1万2000人が来場しました。

Style of Cinema



【SSFF & ASIA 2014 テーマ】

「STYLE OF CINEMA」

あらゆる映像作家が追究するビジュアルアートのスタイル。そのスタイルの原点こそがショートフィルム。スタイルとは何かー。

今年のメインビジュアルでは人物の原点であるアダムとイブが、光の3原色で「Style of Cinema」を表現します。



【フェスティバルアンバサダー:LiLiCo】

【開催概要】

- 名称 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014
- 主催 ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会
- 日程・会場

5月30日(金)～6月1日(日) 会場:表参道ヒルズ スペース オー

6月3日(火)～6月8日(日) 会場:ラフォーレミュージアム原宿

5月30日(金)～6月15日(日) (横浜開催) 会場:ブリリア ショートショート シアター

■一部の特別プログラムを除き、東京会場、横浜会場ともに無料上映となります。

※上映の参加は4月22日(水)以降、オフィシャルサイトから事前に登録が可能です。

※その他、映画祭内のラインナップ、イベント情報は順次ご案内していきます。

■SSFF & ASIA オフィシャルサイト www.shortshorts.org

＜メディアからのお問い合わせ＞
 広報事務局(共同ピーアール株式会社内)
 中里・吉田・横山
 TEL:03-3571-5238 FAX:03-3571-5380
 E-mail: keisuke.nakazato@kyodo-pr.co.jp

＜一般の方からのお問い合わせ＞
 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局
 TEL:03-5474-8844 FAX:03-5474-8202
 E-mail: press@shortshorts.org

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA) について

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会 (SAG) の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル (SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から同年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア (SSFF AISA 共催: 東京都)」が誕生し、現在、この2つの映画祭が“SSFF & ASIA”として開催されています。上映内容は、オフィシャルコンペティションをはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、様々なカテゴリーのプログラムで構成されています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ28万人を動員。日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げるとともに、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭は応援していきます。

- 1999年 アメリカン ショートショート フィルムフェスティバル開催
- 2002年 エジプシャンシアターにてロサンゼルス開催
- 2004年 ショートショート フィルムフェスティバル アジア 開催
米国アカデミー賞公認映画祭に認定
- 2005年 名称を「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア」へ統一
「愛・地球博」にて、ショートショートフィルムフェスティバル EXPO 開催
- 2006年 ショートショートフィルムフェスティバル メキシコ初開催
- 2008年 ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 10周年
ショートフィルム専門映画館「ブリリア ショートショート シアター」を横浜みなとみらいにオープン
2001年観客賞受賞のジェイソン・ライトマン監督の長編映画『JUNO』が全米で2億ドル突破のヒット！
- 2010年 ショートショートフィルムフェスティバル & アジア in マレーシアを初開催
- 2011年 チャリティショートフィルムの制作、収入の1部を寄付など、映画祭を通じて東日本大震災の復興を応援
- 2012年 1999年の初年度開催にちなみ6月4日を「ショートフィルムの日」に制定 (日本記念日協会に認定)
- 2013年 ショートショートフィルムフェスティバル & アジア15周年
日本劇場初公開作品含む15人の著名監督らのショートフィルム作品を上映
SSFF & ASIA 2009ジャパン部門優秀賞 (東京都知事賞) の落合賢監督の『タイガーマスク』が公開



(写真、左から)

- ・1999年、アメリカ大使館にて行われたパーティーにて。SSFF & ASIA代表の別所哲也とジョージ・ルーカス監督
- ・2008年にオープンしたショートフィルム専門映画館ブリリア ショートショート シアター
- ・2013年、15周年を迎えた映画祭のアワードセレモニーにて